

2018年11月17日

長門市議会

議長 武田新二 殿

総務民生常任委員会

副委員長 江原達也

総務民生常任委員会行政視察報告

1. 視察日程

2018年11月7日（火）～2018年11月9日（木）

2. 視察先・項目

(1) 埼玉県草加市

・・・草加市認知症検診事業について

(2) 東京都稲城市

・・・稲城市市民活動ポイント制度について

(3) 東京都東村山市

・・・東村山市版株主総会について

3. 視察参加者

委員長	吉津弘之
副委員長	江原達也
委員	三輪徹
委員	長尾修
委員	岩藤睦子
委員	橋本憲治
委員	綾城美佳

4. 視察内容

別紙

以上

視 察 先	埼玉県草加市			
対 応 部 署	草加市役所 健康福祉部 長寿支援課			
視 察 日 程	2018年11月7日(火) 14:30~16:00			
視 察 項 目	認知症検診事業について			
市概要	面 積	27.42 km ²	人 口	247 千人
	65 歳以上人口	59 千人	高齢化率	23.9%
	【特色】 埼玉県の東南部に位置し東京都に隣接している。地下鉄日比谷線・半蔵門線と直通運転を行う東部スカイツリーラインが市の南北を縦断し、東京外環自動車道が東西を横断するなど交通アクセスに極めて恵まれている。また、江戸時代は、日光街道の宿場町として栄え、松尾芭蕉の奥の細道にも地名が記されている。そして、この草加宿で誕生したとの説がある「草加せんべい」は全国的にも高い知名度を誇っている。			
内 容				
<p>1. 認知症検診事業の概要</p> <p>(1) 導入経緯・目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症は誰にでも起り得る脳の病気によるもので、65 歳以上の約 8 人に 1 人が認知症の人、またはその予備軍であると言われている。その認知症を正しく理解し、認知症予防に取り組んだり、適切な治療を受けることで症状の進行を緩やかにすることが必要である。そこで草加市は、認知症の早期発見の為に、平成 26 年無料の認知症検診を導入した。 <p>(2) 検診内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草加市内の指定医療機関に備付けてある「脳健康度チェック票」(資料 1) を記入し、その内容をもとに医師の問診を受ける。 <p>(3) 対象者 (29 年度現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草加市に住所のある 60 歳および 65 歳以上の者 <p>(4) 受診費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料 (精密検査受診は自己負担) <ul style="list-style-type: none"> ≫ 60 歳の受診費用：医師会負担、65 歳以上：市役所負担 ≫ 医療機関に支払う委託料 <ul style="list-style-type: none"> 脳健康度チェック票 1 件につき 1,000 円 精密検査報告書 1 件につき 500 円 				

2. 認知症検診事業の実績（市役所負担の65歳以上の実績）

（1）年度別実績

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
実施期間	6/16～12/18	6/1～12/18	6/1～12/16
指定医療機関	草加市/41・八潮市/9	草加市/42・八潮市/22	草加市/43・八潮市/19
受診者数*	1,695人（受診率6.3%）	1,864人（受診率6.6%）	2,349人（受診率4.0%）
要精密検査数	584人（受診者の34.5%）	667人（受診者の35.8%）	712人（受診者の30.3%）
決算額（補助額）	1,972千円	2,096千円	2,898千円

*平成26・27年度の受診者数は、65歳以上の奇数年が対象。28年度から65歳以上に拡大。

≫平成26年度：27千人、平成27年度：28千人、平成28年度：58千人

（2）28年度 精密検査受診者の診断所見一覧

（単位：件、%）

	異常なし	軽度認知障害	加齢関連認知低下	アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症	レビー小体型認知症	前頭側頭型認知症	その他/診断未定	診断所見数合計
診断所見数	229	71	41	76	29	1	1	38	486
各所見割合	47.1	14.6	8.4	15.7	6.0	0.2	0.2	7.9	100.0



精密検査受診者の22.1%が認知症と診断されている。

3. 今後の課題（担当課）

- （1）受診率向上のため、今以上に周知を行う。
- （2）認知症検診実施後の指定医療機関と2次医療機関とのスムーズな連携をめざす。
- （3）認知症検診の結果を地域包括支援センター等の地域の社会資源と情報共有し、連携した支援を行う。

4. 視察を終えて（所見）

- （1）認知症は、何より早期発見、早期治療により病状の進行を緩やかにすることが必要である。そのためには、草加市が実施している無料の認知症検診は、平成28年度実績で、受診者の約3割が要精密検査と診断され、精密検査受診者の22.1%で認知症が発見されるなど、早期発見には極めて有効な制度である。
- （2）また、受診者の抵抗を少しでも減らすため、特定健診や後期高齢者検診と同時に受信することをすすめており、受診者のすそ野拡大にも努めている。決算額（補助金額）も平成28年度で約3百万円と少額。是非、長門市でも65歳以上の希望者は、特定健診や後期高齢者検診と併せて、草加市で実施しているような認知症検診を無料で受診出来る制度制定を急がなければいけない。

以上

視 察 先	東京都稲城市			
対 応 部 署	稲城市役所 市民部 市民協働課			
視 察 日 程	2018年11月8日(水) 13:30~15:00			
視 察 項 目	社会貢献活動ポイント制度について			
市概要	面 積	17.97 km ²	人 口	89 千人
	65 歳以上人口	18 千人	高齢化率	19.7%
	<p>【特色】東京都心から西南に約25km。多摩丘陵の北東部に位置し、現在は多くが住宅地となっているが、古くから谷戸地形を活かした農業が営まれており、森林も比較的多く残っている。</p> <p>旧日本住宅公団による1970年代以降の多摩ニュータウン建設や京王相模原線および小田急多摩線の沿線開発に伴い、多摩川流域の既存住宅地と合わせた人口が急増。古くからナシやブドウの産地であり、Jリーグ・東京ヴェルディのホームタウンでもある。</p>			
内 容				
<p>1. 社会貢献活動ポイント制度の概要</p> <p>(1) 導入経緯・目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動に取り組むNPOやボランティアなどの地域での有意義な活動に対する支援体制を充実する中で、活動参加者へのポイント配布を通して、市民の活動への参加意欲を促し、また、活動に参加する人々の出会いづくりや地域活性化を図ることを目的にポイント制度を導入。 <p>(2) 制度内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政の協働を基本とした社会貢献につながる組織的活動に参加する市民(小学生以上)に対して、1回の活動につき1ポイント付与。10ポイント貯まると現金で1000円と交換(単年度に1回まで) <p style="text-align: center;">◆地域復興窓口等で手帳を交付</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">◆対象活動に参加し、手帳に参加証明スタンプまたはシールを貰う</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">◆ポイントが10ポイント貯まったら、1,000円を還元</p> <p>(3) 対象事業選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市民協働課が庁内各課に事業調査(調査・ヒアリング)を実施。それを基に、庁内各課は、市民協働課に事業申請を提出 				

視 察 先	東京都東村山市			
対 応 部 署	東村山市役所 経営政策部 企画政策課			
視 察 日 程	2018年11月9日（水）10：00～11：30			
視 察 項 目	東村山市版株主総会について			
市概要	面 積	17.14 km ²	人 口	151 千人
	65 歳以上人口	38 千人	高齢化率	24.9%
	<p>【特色】東京都心から 30 キロ圏内の、自然と利便性の調和した住宅都市。市内に 9 つの駅があり、都心へのアクセスは極めて至便。当市の出身者で俳優の志村けんの『東村山音頭』によって全国的に市名が知られることとなった。その中にも出てくる多摩湖はほとんどが西隣の東大和市にあるものの、新宿副都心開発により閉鎖された淀橋浄水場の代替地となった東村山浄水場があり、都民が恩恵にあずかっている。</p>			
内 容				
<p>1. 東村山市版株主総会の概要について</p> <p>(1) 導入経緯・目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の東村山市版株主総会は、無作為に抽出した市民を対象に、市の財政状況や人事行政の運営状況、また施策の成果など市政全般について分りやすく報告することで、市民と認識の共有を図ること。また、市民から市政に対する意見・提案を受けながら、市の取組みや成果に対する評価を受けるなど、民間企業で実施されている株主総会になぞらえて行っている。 ・これまで実施していた市民説明会は、参加者が市政に関心のある特定の市民で、毎回同じような顔ぶれとなっていたことから、より多くの市民との認識の共有、より多くの市民の意見・提案を受けのために、市民説明会の抜本改革が必要であった。 ・市民に、東村山市のオーナーであるとの意識を高めて貰い、市の新しい自治を確立するとともに、自治体経営の質を高めていくために導入したもの。 <p style="text-align: right;">(参考：東村山市版株主総会のご案内：資料3)</p> <p>(2) 株主総会の流れ（28年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加者の決定 市民全員の縮図となるように、18歳以上の市民の中から3000人を無作為に抽出し、参加の案内状を発送。定員100名程度の参加申し込みを受付。応募者多数の場合は抽選。また、希望者は傍聴可。 ・株主総会での市政報告（一部内容） <ul style="list-style-type: none"> ≫平成27年度の主な施策の取組み実績（子育て、健康、福祉、地域コミュニティ） ≫財政状況（普通会計収支状況、実質単年度収支、経常収支比率、地方債等残高） ≫人事行政の運営状況（市職員の給与の決め方、給与他市比較、職員数、人材育成） ≫各種統計調査（定住志向、施策満足度、人口・世帯数推移、各指標の他市比較） 				

- ・参加者による意見交換・意見発表（グループ討議：1グループ6人から10人）
テーマ「今後、市がどうゆうことに力を入れるべきか」
 - ・参加者による評価（投票）
 - »5（非常に良くやっている）～1（全く物足りない）の5段階評価
 - »この市民の評価は、市政に対する評価の1つと捉え、市長等の期末手当の支給水準を検討する材料とする。（評価結果を直接、市長等の給与、手当へ反映するということではない）
- 〈参考〉直近3カ年の評価結果（平均点）
- ・26年度：3.72点、27年度：3.78点、28年度：3.42点

(3) 予算額：約300千円（大半が郵送料）

2. 東村山市版株主総会の導入効果について（担当課意見）

- (1) これまで、計画策定、実施段階での市民参加の機会があったが、評価段階への市民参加の機会はあまりなかった。総会開催で、評価段階への市民参加の機会が与えられ自治体経営としても一歩前進したと考えている。
- (2) 過去6回の開催を重ね、行政に関心のある市民が増えたように感じる。また、参加者の総会に対する評判は非常に良く、また機会があれば参加したいとの声も多い。
- (3) 「東村山市みんなで進めるまちづくり基本条例」（市政運営の根幹となる条例）も策定され、市民には市政に関して、より一層「自分ごと」として捉えてもらいたい。その意味でも、総会は非常に重要な取組みで、継続して行きたいと考えている。

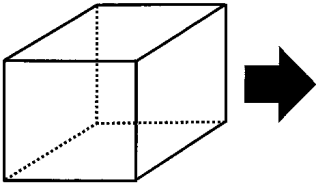
3. 視察を終えて（所見）

- (1) 市民と行政のコミュニケーション手段として、この東村山版株主総会は極めて効果的な施策である。また、同市では、市長と市民のタウンミーティングも毎月行っており、市政の情報を正しく市民に伝えることに非常に努力している。
- (2) 同総会では、住民基本台帳から無作為に選定した住民に案内状を送付しており、行政に接点の無かった市民に対し、市政に参加する良い切っ掛けを与えている。さらに、市民が主な施策の取組み状況や財務状況等を直接評価することから、行政側にも良い緊張感が生まれている。
- (3) また、市の借金（地方債等の残高）、市の貯金（積立基金残高）、1年間のやりくりの結果（実質単年度収支、実質的な財政収支）等も、非常に分かりやすく説明されており、初めて参加した市民であっても、市政に対する相応の知識が得られると思われる。
- (4) 長門市は、市民と行政のコミュニケーション不足が言われており、この東村山市版株主総会のような、コミュニケーション手段の早期構築が不可欠である。以上

脳健康度チェック票

		受診日	平成	年	月	日
氏名	フリガナ() 男 女	生年月日	明・大・昭	年	月	日 ()歳
住所	草加市	電話	()	-		

◎次の質問に「はい」「いいえ」で答えてください。(当てはまる方に○をつけてください)

質問項目	はい	いいえ
1 最近、家族からもの忘れがあると言われたことがある。		
2 物の名前や人の名前が思い出せないことがよくある。		
3 毎日1回以上しまい忘れがあり、さがすことが多い。		
4 今日が平成何年何月何日なのか、分からない時がある。		
5 ここがどこなのか分からなくなり、人に聞いたことがある。または、最近、財布やカードを失くしたと思ひ、あとで衣服の中にあつた経験がある。		
6 いつも作つていた料理の作り方が分からなくなつたことがある。		
7 計算の間違ひが多い。または、お金の勘定をよく間違える。		
8 前に食べた食事の内容を思い出せないことがある。		
9 最近落ち着きがなく、怒りっぽくなつたと言われる。		
10 元気がでない。または、仕事をやる気がしない。		
11 夜眠れないことが多い。		
12 野菜の名前を10個以上言えない。		
13 現在の総理大臣の名前を知らない。		
14 いつも使つてゐる物の名前が出てこず、あれ、それとごまかすことがある。		
15 おなべを焦がしたり、風呂の水を出しっぱなしにしたことがある。		
16 下の図形と同じものを書いてください。(※「はい」「いいえ」欄は医療機関にて記入) () ()		
合計		

この検診で得た情報について、地域包括支援センターへ情報提供し、見守り活動等に活用することを同意します。
はい・いいえ 氏名

<p>判定</p> <p>1. 健康です。もの忘れもなく脳は元気です。</p> <p>2. 少しもの忘れがありそうです。さらに詳しく調べましょう。 〔コメント欄〕</p> <p>3. 現在認知症の治療中である。</p>	<p>医療機関名</p> <p>医師名</p> <p>印</p>
---	----------------------------------

[1] 市提出用

平成 29 年度 対象事業一覧表

No.	事業名	担当課
1	病院ボランティア	市立病院管理課
2	若葉台イルミネーション 2017	市街地整備課
3	子育てサポーターの日	子育て支援課
4	外国人のための日本語教室	生涯学習課
5	稲城市公共施設アダプト制度	管理課 土木課
6	上谷戸ホテルのタペ in 稲城	土木課
7	グリーンボランティア活動事業	土木課
8	稲城市立中央図書館シニアボランティア	図書館課
9	録音図書作成	図書館課
10	布芝居制作	図書館課
11	読み聞かせ	図書館課
12	文庫活動	図書館課
13	いなぎ子ども体験塾	図書館課
14	稲城市立学校における環境美化活動	指導課
15	稲城市立学校における学校図書備品や資料の整理・読み聞かせ	指導課
16	稲城市立学校における登下校時の児童・生徒の安全見守り	指導課
17	男女平等を考えるフォーラム事業(女と男のフォーラムいなぎ)	市民協働課
18	稲城市消防本部消防支援ボランティア	警防課
19	「アンテナショップほのか」事業	経済観光課

※対象事業の詳細につきましては、各担当部署にお問合せください。

